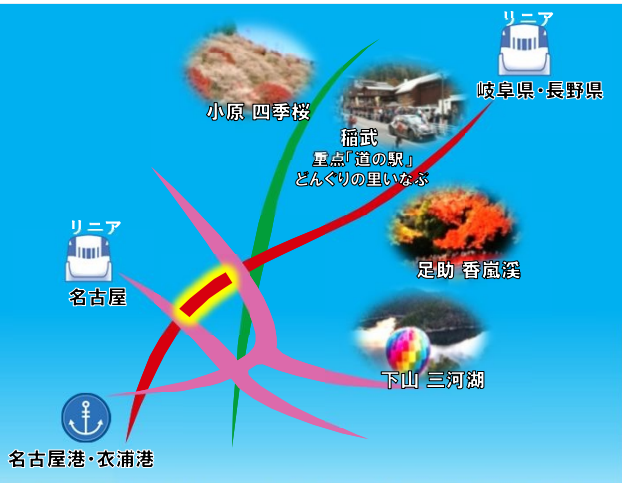
豊田市の幹線道路網整備に関する要望書

しなやかで魅力あふれる産業中枢都市 豊田市

国道155号
豊田南バイパス
令和8年度
全線開通





令和８年10月

豊田市幹線道路整備促進協議会

我が国は、頻発する自然災害や甚大な被害が想定される大規模地震、埼玉県八潮市の道路陥没事故等にみる老朽化したインフラの保全等の課題に直面しており、国民の生命・財産・暮らしを守り抜くためには、防災・減災、国土強靱化等の危機管理投資を推進する必要があります。また、中東情勢の緊迫化等の外的環境が変化する中でも、強い地域経済の構築に向けて、成長投資を支える戦略的な社会資本整備等を推進するとともに、地方の大きな伸び代を活かす地域未来戦略や国土計画の実現に資するまちづくりの推進等に取り組み、日本列島を強く豊かにしていく必要があります。

世界をリードする産業中枢都市である本市においても、自動車産業を取り巻く環境が激しく変化する中で、産業中枢都市としてこれまで以上に日本経済を牽引し強靱な国内経済基盤を構築するためには、産業拠点を国内にしっかりと定着させ、国際競争力の強化や生産性の向上などストック効果を最大化し波及効果の大きいプロジェクト等を展開することが不可欠です。さらに、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫や気候変動に伴う災害の激甚化・頻発化、加速化するインフラ施設の老朽化などの様々な課題を背景に、防災・減災が主流となる安全・安心な社会の構築が必要です。

これらを進めるうえで、道路は危機管理投資と成長投資の双方を支える重要な社会基盤であることから、引き続き強い経済と豊かな生活の基盤となる道路ネットワークの構築、予防保全型インフラメンテナンス及び DX 等の推進などの防災・減災、国土強靱化の強力な推進、通学路等の交通安全対策を積極的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

1　強い地域経済の構築に向け、国内投資拡大や生産性向上を実現し、成長投資の基盤となる幹線道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること
特に、国道 153 号豊田北バイパスについては、国道 155 号豊田南バイパスの令和８年度全線開通に引き続き、より一層推進すること

2　安全で円滑な人流･物流を支え、事前防災を強化する幹線道路ネットワークの整備について、特に、国道 153 号伊勢神改良の早期開通に向け整備推進を図ること

3　第１次国土強靱化実施中期計画を踏まえ、「令和の国土強靱化」対策を推進するため、「強く豊かな日本」投資枠を活用し、必要な予算･財源を通常予算とは別枠で満額確保するとともに、中東情勢による資材への影響にも適切に対応しながら、資材価格や労務費等の上昇も加味した上で、令和９年度道路関係予算はこれまでの補正予算も踏まえた規模で所要額を満額確保すること

国道153号豊田北バイパス・国道155号豊田南バイパス【直轄】

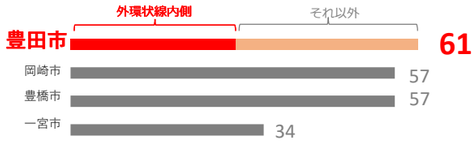
～成長投資の基盤となる強靭な道路ネットワーク整備～

- 国際競争力強化や国内外の人流・物流を支えるネットワークの形成
- 切迫する巨大災害に対し、強い地域経済活動の基盤となる稼げる地域を構築

現状と課題

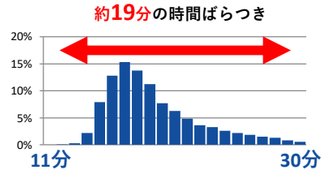
主要な幹線道路が中心市街地を通過

●外環状線内側に主要渋滞箇所が集中



▲愛知県内（名古屋市除く）主要渋滞箇所数（令和８年８月４日時点）

●低い時間信頼性



▲現道区間の所要時間割合

●災害時の迂回ルート不足



▲矢作川破堤時の市中心部



豊田北バイパスの
さらなる整備加速を

南＋北で約25分短縮



南北BP隣接エリアにトヨタ新工場２０３０年代初頭の稼働を目指す



自動車関連企業の声

・豊田南北バイパスの整備により、強靭なサプライチェーンが構築され、**生産性が向上**することに期待。
・国内でのモノづくりの岐路において、最先端技術を結集した新車両工場設立により**国際競争力の確保と持続可能な社会**に貢献。

高まる地域からの期待と関心



地域住民の声

・**待ち望まれた豊田南バイパスの開通が間近に迫り**、医療機関へのアクセス向上や交通安全の確保への**効果に期待**。
・渋滞解消やICへのアクセス性向上のために、**引き続き豊田北バイパスの整備**に期待。

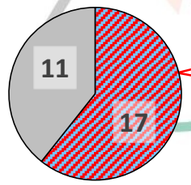
整備効果

企業や市民の生産性や効率性を向上

●市街地を迂回し、東名と東海環状を直結



外環状線内側の主要渋滞箇所（n=28）



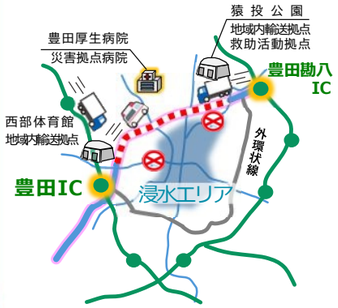
南北BPの開通により外環状線内側の主要渋滞箇所のうち約6割が緩和

外環状線の外側においても5箇所の渋滞が緩和

■南北BP開通で緩和　■それ以外

平常時・災害時を問わない強靭な命綱

●浸水エリアを回避した強靭な緊急輸送道路ネットワークを形成



●第3次救急医療施設への15分圏域が拡大



国道153号　伊勢神改良【直轄】　～危機管理投資として事前防災を強化する道路ネットワーク整備～

- 人やモノの安全・安心な移動を実現する「命の道」
- 交流のセントラルハブとしてリニア駅を核とした広域観光交流圏を形成



重点「道の駅」どんぐりの里いなぶ

国土強靭化



災害時に備えた道の駅BCP訓練を実施
（地域防災活動拠点）

地方創生



朝市の開催



AFTER RALLYinINABUの開催

□道の駅を核とした地域力の向上、交流人口拡大
【観光客数：約38万人/年】

国道153号周辺の主要観光地

豊田市博物館（左）
豊田市美術館（右）



豊田市中心部

○観光客数：約94万人/年

鞍ケ池公園



豊田市中心部

○観光客数：約144万人/年

香嵐渓



足助地区

○観光客数：約67万人/年

観光客数は、R7.1～R7.12実績

現状と課題

県内唯一※1の異常気象時通行規制区間※2



※1　直轄国道に限る
※2　連続雨量150mm

令和５年６月の豪雨で
約10時間に及ぶ
通行止めが発生！

管内唯一※1の高さ制限区間※2



※1　中部地方整備局管内
※2　H=3.5mを超える車両通行不可

大型車は中央線を
はみ出して走行！

整備効果

広域危険物輸送の唯一のルートを確保

●重要物流道路の信頼性や安全性を向上



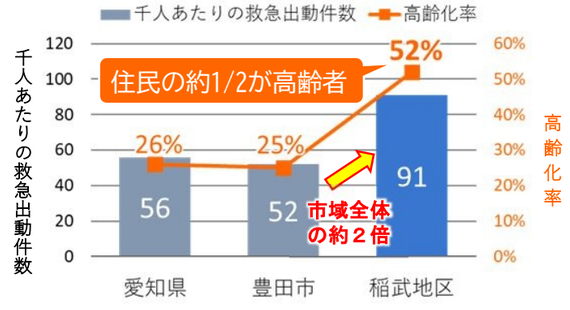
国道１５３号が
唯一のルート！
116台/日（平日）
が通行※

※【出典】H22.2名古屋国道事務所調査

□安定したエネルギー供給により生産性を向上

『地域住民の命を守る』足助病院への唯一の道

●第2次、第3次救急医療施設へのアクセス性向上



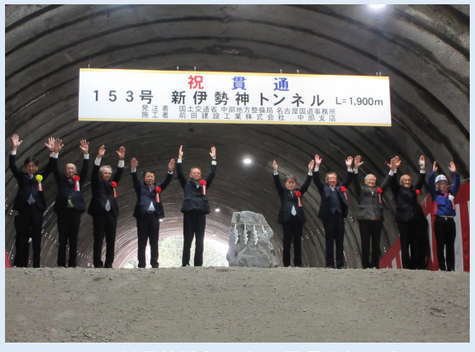
▲稲武地区の高齢化率と救急出動件数

【出典】愛知県消防年報、とよたの消防、Web統計とよたより作成

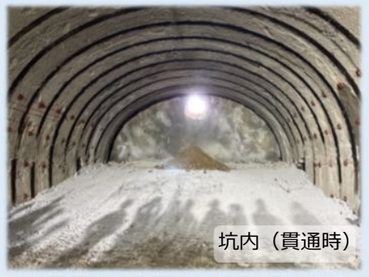
□ 異常気象時通行規制や急カーブ・急勾配が解消
⇒「命の道」が安全で確実な搬送を実現

令和８年３月２５日　新伊勢神トンネル（仮称）貫通

新伊勢神トンネル（仮称）の1日も早い開通を要望



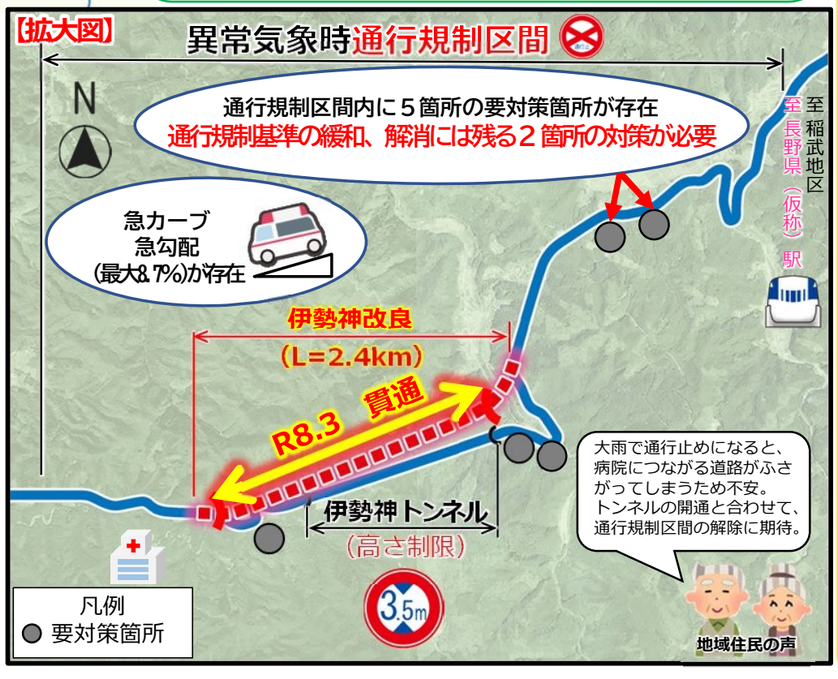
▲153号 新伊勢神トンネル貫通お祝い会



坑内（貫通時）



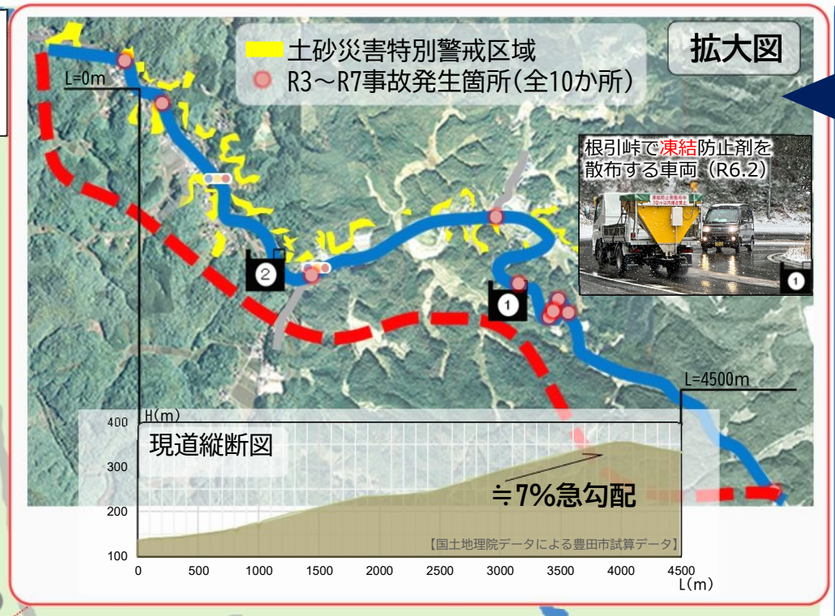
坑外（貫通時）



国道301号　根引・林添バイパス【県事業】～人・モノ・技術の交流と結合を実現する道路整備～

- 最先端の研究開発施設を支援し、国の基幹産業である自動車産業の更なる発展を実現
- 安全・安心な山村地域の実現に必要不可欠な道路ネットワークを形成





現状と課題

連続する道路線形不良箇所

●落石崩落箇所や交通事故発生地点が点在

□第2次緊急輸送道路で、第3次救急医療施設のアクセス路
□令和元年には死亡事故が発生。通学路にも指定



●交通渋滞の発生

□現道は急勾配・急カーブが続き大型車は減速
□研究開発施設の稼働により、新たな交通需要の発生



整備効果

山村地域のいのちと生活を守る

●強靭な道路環境を実現

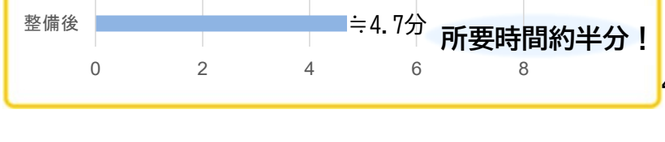
□緊急輸送道路の**代替性及び信頼性の確保**
□第３次救急医療施設や**防災上の活動拠点へのアクセス性向上**
□大型・通勤車両の転換による**交通安全の向上**



産業と観光の成長を支援

●研究開発施設及び観光地へのアクセス性向上

□バイパス整備により、所要時間が約半分に
□**豊田松平IC・研究開発施設・観光地**などのアクセス性が向上

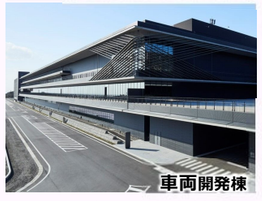


「もっといいクルマづくり」の拠点となる研究開発施設



「Toyota Technical Center Shimoyama」

□従業員数　３千人（拡大し得る容量3,850人）
□本社と下山間の出張者数　約２２千人/年
□開発車両の輸送　３０便/日



根引・林添バイパスの開通により
フルトレーラー輸送が可能となり輸送効率向上！

アクセス道路整備で「もっといいクルマづくり」をサポート

重要物流道路補完路に指定

令和８年２月
トヨタテクニカルセンター下山を新たな
「地区防災活動拠点」に指定

■使用イメージ
国道３０１号至近の敷地を全国から参集する自衛隊や消防隊など救援部隊の活動拠点としての使用を想定





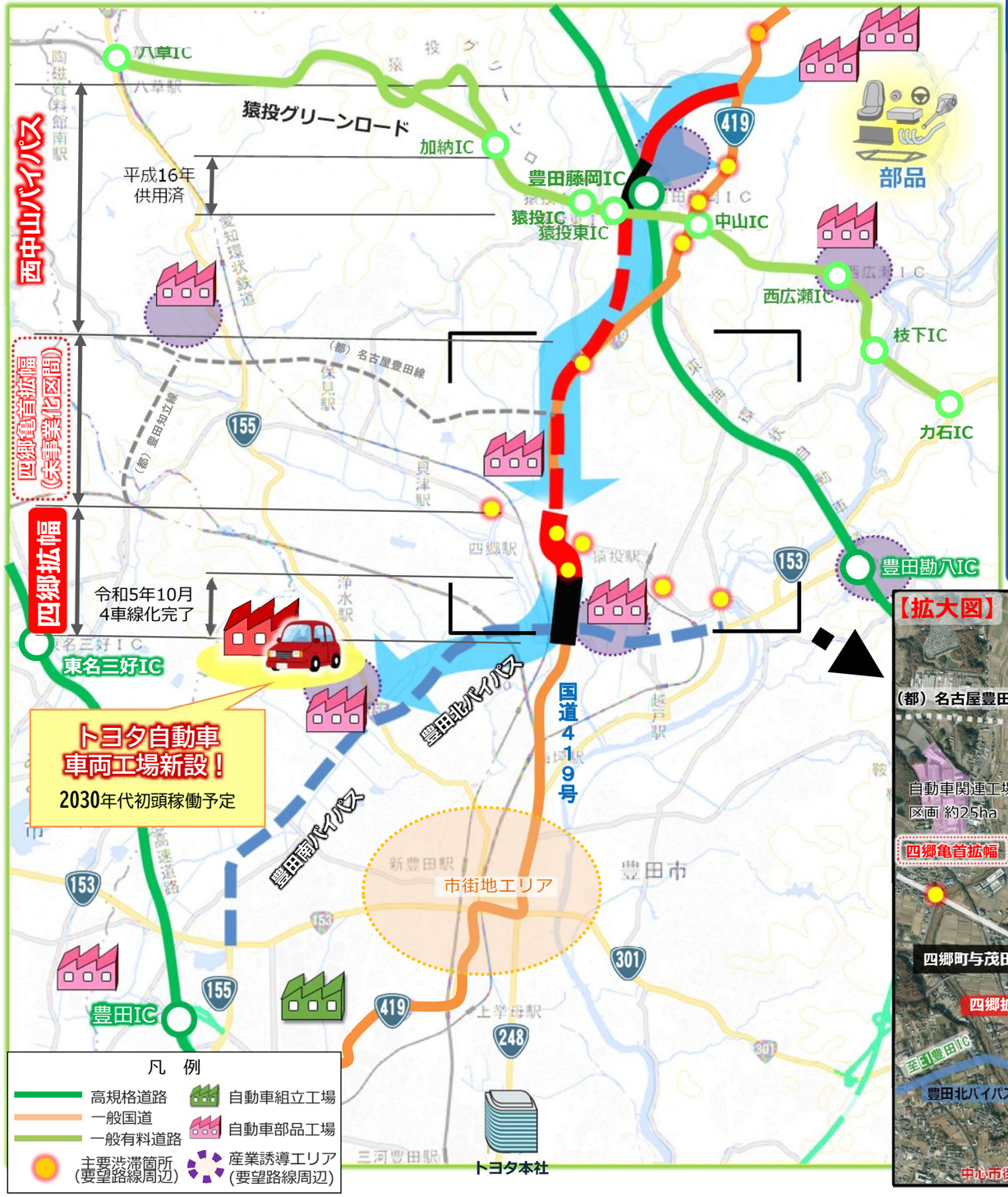
⇐令和3年5月7日 防災訓練



令和８年４月７日
国道３０１号の豊田松平ICから
トヨタテクニカルセンター下山まで
の区間を重要物流道路補完路として指定

国道419号　四郷拡幅【県事業】　～持続可能な都市の発展を実現する道路整備～

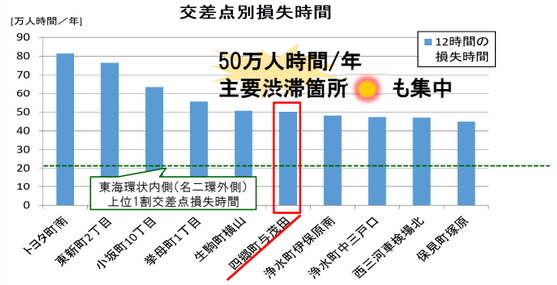
- 産業拠点とICへのアクセス性向上によるサプライチェーンの強靱化
- ４車線化整備により民間投資需要が増大するなどストック効果を発現



現状と課題

交通渋滞による生産性の低下

●時間ロスの発生



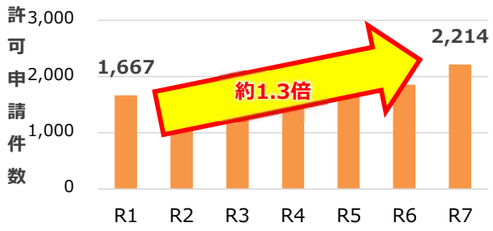


□通勤・帰宅時を中心に与茂田交差点に**交通が集中**

●大型車両の安全性・走行性に課題



【豊田市への特殊車両通行許可申請件数の推移】



□ドライバー不足等に伴い**車両が大型化**

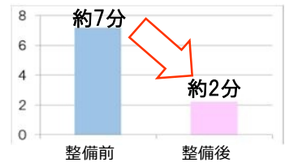


整備効果

生産性向上や民間投資の誘発を実現

●４車線化整備により所要時間を短縮

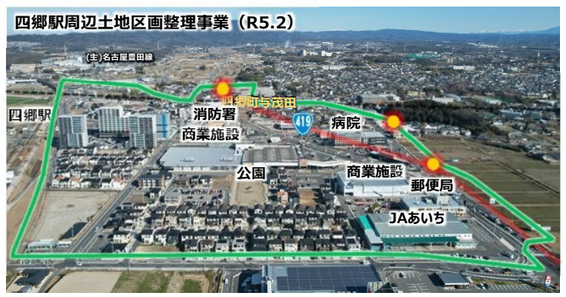
四郷拡幅による所要時間の変化（上原町上原～四郷町与茂田）



半分以下に!!

（民間プローブデータより豊田市が算出）

●土地区画整理事業や産業団地拡張が進展



（都）豊田刈谷線　宮上知立線バイパス【県事業】

～ものづくり産業の基盤を支え
高規格道路へのアクセス性を高める道路整備～

- 部品工場集積地と組立工場集積地を結ぶ、強靭なサプライチェーンを形成
- 円滑な移動を確保し、物流の効率化や安全・安心な道路交通の実現



現状と課題

周辺幹線道路に交通が集中

●県道宮上知立線の慢性的な渋滞

□国道155号、国道419号、豊田南IC周辺は主要渋滞箇所に指定されているほか、県道宮上知立線も<u>慢性的な渋滞</u>が発生

□渋滞を避けるため、通過交通が生活道路へ流入し、<u>交通安全上危険な状態</u>

県道宮上知立線の慢性的な渋滞（写真③）





住宅地へ流入する通過交通（写真④）

整備効果

道路交通の機能分担

□交通事故発生時、災害発生時においても交通を確保し、<u>物流の定時性を確保</u>

□現道区間の<u>渋滞緩和</u>、<u>交通安全の向上</u>



□自動車産業のサプライチェーンを構築する部品工場集積地と組立工場集積地、高規格道路を接続し、<u>物流の速達性を向上</u>



中田工区　大型車の通行状況（写真⑤）

安全・安心な道路空間の構築

日本の未来を担う子ども達の安全・安心を守るため、地域の実状に応じた通学路等の**交通安全対策の強化・推進**が必要です。



国道153号　交通安全対策　歩道整備事業（直轄事業）

小田木地区（事業中）

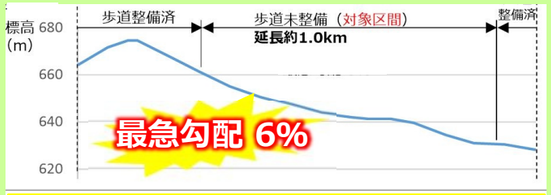


名古屋圏と三河山間部を結び、恵那山トンネルを回避する危険物積載車両の代替路線である国道153号において、歩道整備により歩行者等の安全性を向上

早期整備を要望

野入地区





平成24年度にはバス停付近で
小学生×自動車 の 死亡事故発生

国道153号 電線共同溝事業 豊田小坂町電線共同溝(直轄事業)



豊田南バイパス～豊田市中心市街地間で、無電柱化により安全で快適な歩行空間の確保や電柱倒壊による都市災害の防止を図る

早期整備を要望

災害に屈しない強靱なまちづくり

災害脆弱性とインフラ老朽化を克服した安全・安心な社会を構築するため、**防災・減災、国土強靱化の切れ目ない推進に向けた予算の確保**が必要です。

持続可能なインフラマネジメント実現のための予算の確保

豊田市が管理する主要な道路インフラ

道路管理延長	：	約2,590km	愛知県下　第２位
橋りょう	：	約1,200橋	愛知県下　第３位
横断歩道橋	：	41橋	愛知県下　第１位

※名古屋市を除く

愛知県下トップクラスの道路施設管理数



建設後50年を経過した橋りょう数の推移

20年後には80%以上の橋りょうが50年を経過

戦略的な予防保全型メンテナンスの推進

デジタル化の推進（新技術の活用による施設の点検・診断）

道路パトロールの高度化・省力化



新技術活用による橋りょう等の点検



災害リスクに強いまちの実現のための予算の確保

事前防災による輸送ルートの確保

緊急輸送道路などの重要道路を跨ぐ橋を重点的に予防保全を実施

緊急輸送道路を跨ぐ市道橋の例

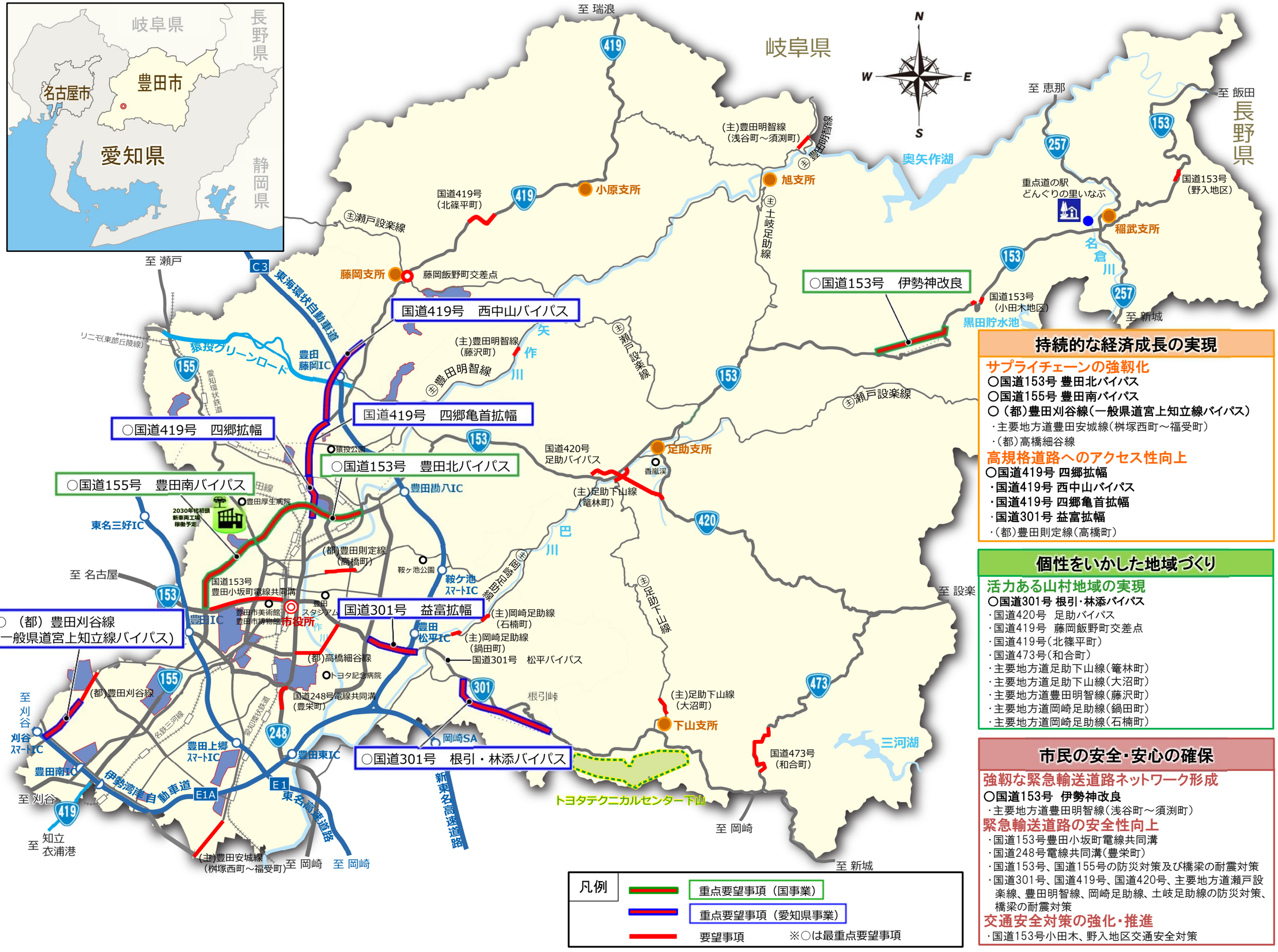


緊急輸送道路における無電柱化を推進

（都）高橋細谷線【第３次緊急輸送道路】



豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】（参考）



持続的な経済成長の実現

サプライチェーンの強靭化

- ○国道153号 豊田北バイパス
- ○国道155号 豊田南バイパス
- ○（都）豊田刈谷線（一般県道宮上知立線バイパス）
  - ・主要地方道豊田安城線（桝塚西町～福受町）
  - ・（都）高橋細谷線

高規格道路へのアクセス性向上

- ○国道419号 四郷拡幅
- ・国道419号 西中山バイパス
- ・国道419号 四郷亀首拡幅
- ・国道301号 益富拡幅
- ・（都）豊田則定線（高橋町）

個性をいかした地域づくり

活力ある山村地域の実現

- ○国道301号 根引・林添バイパス
- ・国道420号　足助バイパス
- ・国道419号　藤岡飯野町交差点
- ・国道419号（北篠平町）
- ・国道473号（和合町）
- ・主要地方道足助下山線（滝林町）
- ・主要地方道足助下山線（大沼町）
- ・主要地方道豊田明智線（藤沢町）
- ・主要地方道岡崎足助線（鍋田町）
- ・主要地方道岡崎足助線（石楠町）

市民の安全・安心の確保

強靭な緊急輸送道路ネットワーク形成

- ○国道153号　伊勢神改良
  - ・主要地方道豊田明智線（浅谷町～須渕町）

緊急輸送道路の安全性向上

- ・国道153号豊田小坂町電線共同溝
- ・国道248号電線共同溝（豊栄町）
- ・国道153号、国道155号の防災対策及び橋梁の耐震対策
- ・国道301号、国道419号、国道420号、主要地方道瀬戸設楽線、豊田明智線、岡崎足助線、土岐足助線の防災対策、橋梁の耐震対策

交通安全対策の強化・推進

- ・国道153号小田木、野入地区交通安全対策

令和８年１０月１３日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会 長　　豊 田 市 長

太　田　稔　彦

豊田市議会議長

岩　田　　淳

豊田商工会議所会頭

杉　原　功　一